

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するグルココルチコイド療法の有効性を検証する
多施設共同後方視的研究

【目的】

グルココルチコイド療法は、過去に流行したコロナウイルス感染症（SARS や MERS）の際に広く用いられました。今回の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行に際しても、他の治療薬とともにしばしば使用されていますが、WHO は使用を推奨していません。しかし、過去のコロナウイルス感染症（SARS）においては、ウイルスが排出された後にも炎症反応が持続し、加えて病理学的にはびまん性肺胞障害が惹起されると報告されていることから、グルココルチコイドの抗炎症効果は期待できると考えられます。今回は、過去に COVID-19 に感染した患者さんのデータを集積し、実臨床におけるグルココルチコイド投与群・非投与群を比較して、グルココルチコイドの有効性を評価します。さらに、どのような患者さんに効果があるか、最適な投与量・開始時期・継続期間なども併せて検討することを目的としています。

【対象】

2020 年 1 月から 2020 年 4 月までに COVID-19 感染症と診断され、入院を要した患者さん

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、調査票へ入力します。入力したデータおよびレントゲンや CT 画像は研究事務局（神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科）へ郵送または電子メールにて送付し、研究事務局において保管・解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報・画像は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（症状発現日、診断日、入院日、性別、年齢、身長、体重、人種・地域、合併症の有無と治療、喫煙歴、入院中のレントゲン・CT 所見や自覚症状、COVID-19 に対して実施した治療の詳細と転帰 等）

画像（胸部レントゲン、胸部 CT）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから 2021 年 2 月 28 日まで

【研究代表者】

神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科 小倉 高志

【共同研究機関】

神奈川県立循環器呼吸器病センター、公立陶生病院、神戸市立医療センター中央市民病院
さいたま赤十字病院、国立国際医療研究センター、東京医科大学病院、東京医科歯科大学医学部附属病院
名古屋大学医学部附属病院、東京医療センター、杏林大学医学部付属病院、船橋中央病院
横須賀市立市民病院、横浜市立市民病院

【当院の研究責任者】

感染症内科 立川 夏夫

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56
電話 045-331-1961（病院代表） 感染症内科 立川 夏夫

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。